

中間とりまとめに向けた当面の検討課題（案）

計画部会においては、当面、次期社会資本整備重点計画の前提条件となる、社会資本を取り巻く状況や今後の社会資本整備の基礎的な考え方について整理を行っていく必要がある、以下のような社会資本整備に関する種々の課題について検証を行っていくこととする。

【必要性・規模】

歳入・歳出の一体改革を進めていく中で、聖域無き歳出削減などが求められているが、今後の社会資本整備の規模はどうあるべきか？

- 今後の人口減少社会を見据えると社会資本整備は縮小していくべきという指摘があるが、支障は生じないのか？
- 我が国の社会資本は概成したと言えるのか？
- 公共事業費の水準は諸外国に比べて高いと指摘されているが、適正な水準をどう考えるか？

【対応すべき課題】

21世紀に向けた様々な課題がある中で社会資本整備に何が求められているのか？

- 我が国特有の地理的条件から多発する地震や津波、台風などの自然災害に対して、依然国土は脆弱であり、一層の整備が必要ではないか？
- 成長著しい東アジア諸国等との国際競争に勝ち残り、日本の経済成長率を高めていくためには社会資本整備が果たすべき役割はまだあるのではないか？
- 環境問題、ユニバーサルデザイン、少子高齢化対策など我が国が今後対応していくべき諸課題に対して、社会資本整備はどういった役割を果たしていくべきなのか？
- 地域経済の活性化を考える上でどのような社会資本ストックが必要となるか？

【効果】

財政状況が厳しい中でこれまで公共事業の規模を縮減してきた。今後の公共投資について検討する上でも、公共投資の効果について、整理すべきではないか？

- 公共投資の経済効果は逡減しており、投資をしても無駄なのか？
- 公共投資の効果は、短期的な乗数効果や長期的な生産力効果等により計られているが、経済効率性のみで計れない分野があるのではないか？

【維持管理・更新投資】

公共投資の規模が縮減され、ストックが増大する中で、社会資本の維持管理を如何に実施すべきか？

- 社会資本ストックの増加に伴い、今後維持管理費の増大が予測されるのではないか？
- 社会資本ストックの更新投資や維持管理を適切に行うことにより、今後の投資コストの低減が図れるのではないか？

【効率的執行】

社会資本整備の重点的、効果的かつ効率的な実施について、さらなる検討を行うべきではないか？

- 公共事業の執行には依然無駄が多いのか？